

通し
狂言

菅原伝授手習鑑

すがわらでんじゅてならいかみ

第1部(午前10時30分開演)

第2部(午後4時開演)

初段

大内の段

加茂堤の段

筆法伝授の段

築地の段

杖折檻の段

東天紅の段

丞相名残の段

三段目

車曳の段

茶筌酒の段

喧嘩の段

訴訟の段

桜丸切腹の段

天拝山の段

寺入りの段

寺子屋の段

二段目

杖折檻の段

東天紅の段

四段目

寺子屋の段

人形浄瑠璃

文楽

4月公演

平成26年

4月5日(土) - 27日(日)

※16日(水)は休演

字幕表示がございます

◆予約開始=3月3日(月) 午前10時~

【電話】国立劇場チケットセンター(午前10時~午後6時)
0570(07)9900 / 03(3230)3000 (PHS・IP電話)

【インターネット】※一般のみ

<http://ticket.ntj.jac.go.jp/> (パソコン)
<http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> (スマートフォン)

※この公演はインターネット予約の際、座席選択をご利用いただけます。
※詳細は上記ホームページをご覧ください。

◆窓口販売開始=3月4日(火) チケット売場(午前10時~午後6時)

※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

◆ご観劇料(税込) ※障害者の方は2割引(1等一般のみ)

■消費税の引き上げに伴い、4月1日よりチケット料金を改定いたします。ただし、3月31日までのご購入については、改定前の料金でお買い求めいただけます。

○3月31日まで

[1等] 一般5,800円・学生4,100円

[2等] 一般2,300円・学生2,300円

[通し料金] 1等一般のみ9,800円 ※電話予約と窓口のみ

○4月1日から

[1等] 一般6,000円・学生4,200円

[2等] 一般2,400円・学生2,400円

[通し料金] 1等一般のみ10,000円 ※電話予約と窓口のみ

※3月31日以前に電話予約されたチケットを、4月1日以降にチケット売場カウンターにて代金をご清算のうえ引き取られる場合は、改定後の料金を申し受けます。
なお、チケット売場は新システムへの移行作業のため3月29日・30日は臨時休業いたします。なにとぞご了承ください。

◆臨時休業のお知らせ

新システムへの移行作業等のため下記の期間、臨時休業いたします。
なにとぞご了承ください。

●国立劇場チケットセンター 3月29日(土)・3月30日(日)

●チケット売場(国立劇場・演芸場・能楽堂・文楽劇場)

●インターネット販売 3月28日(金) 午後6時~3月31日(月) 午前10時
3月31日(月) 午後11時~4月1日(火) 午前10時

関西から

文楽 2009.11
BLINRAKU
2009.11
2009.11
2009.11

文化力
POWER OF CULTURE



国立文楽劇場(大阪)

〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号
06(6212)2531代 <http://www.ntj.jac.go.jp/>

国立文楽劇場開場三十周年記念

菅原伝授手習鑑

すがわらでんじゆてならいかかみ

平成26年
4月5日(土)
~27日(日)
*16日は休演

菅原道真(八四五〜九〇三)の劇的な人生は天神伝説として全国に広く伝わり、様々な文芸に脚色されています。人形浄瑠璃文案の「菅原伝授手習鑑」は、近松門左衛門の「天神記」を元に、竹田出雲・並木千柳・三好松洛・竹田小出雲の合作により延享三年(一七四六)八月に大坂竹本座で初演され、「義経千本桜」「仮名手本忠臣蔵」とともに日本戯曲史上、三大名作と呼ばれています。第一部は菅丞相(菅原道真)が配流された物語を、第二部は丞相のために働いた三つ子の兄弟の悲劇を中心に上演します。

第一部 午前10時30分開演(午後3時30分頃終演予定)

来朝した渤海国の僧が天皇の絵姿を写すことを願いましたが、醍醐天皇は御不例のため、弟齋世親王が代理を勤めました。その親王と右大臣菅丞相(菅原道真)の養女廻屋姫は、舍人桜丸と女房八重の仲立ちで、逢瀬を楽しんでいました。ところが、左大臣藤原時平の家臣に気付かれ、親王と姫は姿を消します。書道の奥義を伝授せよとの勅命により、丞相は追放した家臣武部源蔵に筆法伝授を許しますが、追放は赦しませんでした。参内した丞相は、「外戚の望みあり」との時平の讒言により九州大宰府へ流罪となります。混乱に乗じて源蔵と妻の戸浪は、舍人梅土丸から若君菅秀才を預かります。

れを止める丞相の声は、丞相自作の木像が発したものでした。立田前の夫宿禰太郎とその父土師兵衛は時平に内通し、丞相の暗殺を企てていました。それを知った立田は太郎に殺されて池に沈められてしまいます。親子は一番鶏で出立する丞相を奪うため、鶏に早鳴きさせようとしています。丞相が賈迎いに伴われて旅立った後、立田の死骸が発見されます。太郎の仕業と悟った覚寿は、娘の仇を討ちます。輝国は賈迎いの後を追おうとしますが、真の丞相が現れます。賈迎いが連れて行ったのは木像だったのです。覚寿は伏籠の中に姫を隠して対面させようと思いますが、丞相は名残を惜しみつつ館を去るのです。

第二部 午後4時開演(午後8時55分頃終演予定)

丞相の領地佐太村の百姓四郎九郎の三つ子の内、梅王丸と桜丸は浪人となり、吉田神社に参詣する時平の行列を襲います。これを阻んだのは時平に仕える三つ子の一人松王丸でした。父の

七十歳の祝いが済むまではと、兄弟三人は矛を取めます。祝いを機に四郎九郎は白太夫と改名し、八重を連れて氏神詣でに出かけます。人れ違いにやって来た松王丸と梅王丸は喧嘩となりました。梅王は丞相の元へ行くことを、松王は親子の縁を切ることを父に願ひ出ますが、松王の願ひのみ聞き入れられます。一人残された八重の前に桜丸が現れ、加茂堤の一件の責任を取って腹を切ると言います。逃れられぬ宿命と観念して白太夫は念仏を唱えて送ります。白太夫は梅王丸に八重を託して九州に向かいます。

九州の丞相の元には、佐太村の梅が飛び移って来ていました。そこへ梅王丸が時平が送り込んだ暗殺者を捕らえて来たので、時平が謀叛を企てていると悟った丞相は、天神となって都の方角へ飛び去ります。源蔵夫婦は芹生の里で寺子屋を開き、菅秀才を育てていました。源蔵の留守中に、母親に連れられた小太郎が弟子入りによって来ます。時平の家臣春藤玄蕃に、菅秀才の首を差し出せと迫られた源蔵は、小太郎を身代りに立てることにしました。菅秀才と面識のある検分役の松王丸は、小太郎の首を菅秀才のものとして断定します。小太郎の母が迎えに来ますが、実は松王丸の女房千代で、松王丸と闘つての事だったので。



筆法伝授の段



丞相名残の段



佐太村の段



寺子屋の段

予約開始

3月3日(月) 午前10時~

〈電話〉国立劇場チケットセンター [午前10時~午後6時]

0570(07)9900

03(3230)3000 [PHS・IP電話]

〈インターネット〉※一般のみ

http://ticket.ntj.jac.go.jp/ [パソコン]

http://ticket.ntj.jac.go.jp/m [スマートフォン]

※この公演はインターネット予約の際、座席選択をご利用いただけます。

※詳しくは上記ホームページをご覧ください。

窓口販売開始

3月4日(火) ※窓口販売用には前枠のお取り置きはございません

[チケット売場 午前10時~午後6時]

※この公演はインターネット予約の際、座席選択をご利用いただけます。

※詳しくは上記ホームページをご覧ください。

臨時休業のお知らせ

新システムへの移行作業等のため下記の期間、臨時休業いたします。なにとぞご了承ください。

●国立劇場チケットセンター 国楽部 チケット売場(国立劇場・演芸堂・能楽堂・文楽劇場) ▶3/29(土) ▶3/30(日)

●インターネット販売 ▶3/28(金)午後6時~3/31(月)午前10時 ▶3/31(月)午後11時~4/1(火)午前10時

ご観劇料(税込)

消費税率の引き上げに伴い、4月1日よりチケット料金を改定いたします。ただし、3月31日までのご購入については、改定前の料金でお買い求めいただけます。

3/31まで 一般[1等] 5,800円(学生4,100円) [2等] 2,300円(学生2,300円)
〈運送料金〉[1等一般のみ] 9,800円 ※電話予約と窓口のみ

4/1から 一般[1等] 6,000円(学生4,200円) [2等] 2,400円(学生2,400円)
〈運送料金〉[1等一般のみ] 10,000円 ※電話予約と窓口のみ

※3月31日以前に電話予約されたチケットを、4月1日以降にチケット売場カウンターにて代金をご計算のうえ引き取られる場合は、改定後の料金を申し受けます。なお、チケット売場は新システム移行作業のため3月29日(土)・30日(日)は臨時休業いたします。なにとぞご了承ください。

※障害者の方は割引あり(1等一般のみ)。車椅子用スペースがございます。ご予約時にお問い合わせください。

※幕見席もございます(詳細はお問い合わせください)

一般のみの取扱い 3/3回より

チケットぴあ / ☎ 0570(02)9999 [Pコード 434-716]

ローソンチケット / ☎ 0570(000)407 [Lコード 58818]

e+ (イープラス) / [パソコン] http://eplus.jp

[携帯] http://eplus.jp/ntj

JR西日本(京阪神地区)の主要駅のみどりの窓口

※〒200-8501 東京都千代田区千代田1-10-10(丸の内線)



国立文楽劇場

〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号 06(621)2531(内)

http://www.ntj.jac.go.jp/

地下鉄・近鉄(日本橋)駅下車徒歩約1分

※駐車場のご利用は大阪府のホームページでご確認ください。

